

主題「接続期の教育の充実を目指して」

～『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の連続性を踏まえた取組～
(3年次計画の1年次)

保幼小連携班 高橋 智代 (島保育園 主任保育士) 伊藤 歩 (花巻ささま幼稚園 教諭)
佐々木 裕 (小山田保育園 上席主任) 高木 宏子 (花巻幼稚園 副園長)
白石 里美 (花巻小学校 教諭) 藤原 美穂子 (東和小学校 教諭)

1 主題設定の理由

保幼小連携班では、平成26年度、スタートカリキュラムを見通した『花巻市アプローチカリキュラム』を作成し、就学前教育の充実を目指した具体的実践を検証・改善していく取組を促した。また、27年度には、幼児期からの発達特性、その子の育ちを大事にし、豊かな体験を重視する等、総合的に学ぶ幼児期の教育の方法も取り入れながら、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための『花巻市スタートカリキュラム』を作成し、「学びの芽生え」の時期から「自覚的な学び」の時期への円滑な移行を図っていく取組を促した。

そこで、今年度から3年次計画として、実践事例を基に『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の円滑な接続の必要性和有効性を検証することで、各施設での保育・教育の充実と質の向上を図ることができると考え、本主題を設定した。

2 研究計画

- (1) 『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の実践
- (2) 『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の検証

3 研究内容

- (1) 各施設による『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の実践とまとめ
- (2) 実践事例の検証・改善
- (3) 事例集の作成
- (4) 保幼小連携研究員の連携実践と発表

4 成果

- ・各園の指導計画を花巻市アプローチカリキュラムと重ねながら、指導計画のねらいの妥当性を問い、見直し改善することが適切な保育・指導に結びつくことを再確認できた。
- ・今、目の前にいる子どもの育ちと学びをしっかりと捉え、一人一人の学びを引き出しているか、自分の指導を見直すきっかけとなった。
- ・『花巻市のスタートカリキュラム』が道標となり、指導の見通しをもって進めることができた。入学後の緊張感を和らげ、今後の学びを支える仲間づくりを意識しながら取り組むことができた。子どもたちの笑顔を引き出し、子ども同士の交流を円滑にすることにつながったことにより、子どもの「意欲的に参加する力」を高めることになったと考えられる。子どもの思考を考慮した週計画を作成することにより、子どもの内面を読み取り、学びの意欲を高めたり、良好な人間関係を構築したりすることができたと思われる。

5 課題

- ・子どもの学びをつなぐためには、ねらいをしっかりともち、互惠性のある交流・連携を推進しつつ、お互い無理のない運営方法を工夫していくこと、意図や方法等を確実に引き継ぎ、修正・改善を図っていくことが必要である。
- ・園便りや学校便り等で、連携・交流の様子やアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの紹介、取組等を記事にし、保幼小、保護者、地域で情報を共有することで、子どもの育ちや学びを共通理解したり、信頼関係を築いたりすることが大切である。
- ・保幼と小の違い等、より具体的な指導のポイントを学ぶことにより、スタートカリキュラムは効果的に進められるのではないか。より実践を重ね、有効性を図る必要がある。

【参考文献】

- ・厚生労働省 (2008) 保育所保育指針 (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/hoiku04/pdf/hoiku04a.pdf>)
- ・文部科学省 (2008) 幼稚園教育要領 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/you.pdf)
- ・文部科学省 (2008) 小学校学習指導要領 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/)
- ・文部科学省 (2010) 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について (報告)」
(http://www8.cao.go.jp/shoushi/10motto/08kosodate/wg/shishin/k_2/pdf/ref3-2.pdf)
- ・文部科学省 (2015) スタートカリキュラムスタートセット
(http://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_mini.pdf)
- ・文部科学省 (2016.8.26) 教育課程企画 特別部会 論点整理 補足資料 (2)
(http://www.hoyokyo.or.jp/nursing_hyk/reference/27-2s7-5.pdf)